

越生・鳩山新校基本計画検討委員会（第3回） 議事録

- 1 日 時 令和5年12月25日（月） 午前10時開会
午前10時45分終了
- 2 会 場 県立越生高等学校白梅館
- 3 出席委員 栗藤委員長、榎本副委員長、黒須副委員長、小林委員、東委員、
丹治委員、早川委員、白井委員、加藤委員、佐藤委員、高井委員、
原口委員、大沼委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 中島、坂本、高辻、橋本

5 協 議 「越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）」について

栗藤委員長 それでは次第2、協議に入ります。まず、本日の協議につきまして、資料の概要を説明いたします。前回までの本委員会での協議及び新校準備委員会での御意見を踏まえ、事務局にて【資料1】越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）を作成しました。本日の委員会における協議と、この後、来年1月に開催が予定されている新校準備委員会での御意見をいただいた後、教育委員会での報告や教育長の決裁を経て、正式に策定していきたいと考えています。なお、前回お示しした新校基本計画骨子（案）については、資料1の中に溶け込んでおります。それぞれの委員会等を経て修正した箇所については、（参考資料1）新校基本計画骨子（案）修正一覧に記載していますので、適宜御参照ください。それでは、【資料1】越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）のうち概要、1 策定に当たっての基本姿勢、2 基本的枠組み、3 校名について説明）

事務局 学科名の修正案について、補足させていただきます。前回の委員会での御意見等を踏まえ、改めて検討し、修正しております。当初案の美術・デザイン科については、アートやデザインを幅広く学ぶ学科という観点で案としておりましたが、中学生に分かりづらいのではないかといただいた御意見や、美術という教科の中にデザインが包含されているのではないかといただいた御意見を踏まえ、改めて学科の名称を検討いたしました。学科の名称を検討するに当たり、美術という語の意味を改めて調べたところ、「視覚的、空間的な美を表現する造形芸術」とありました。また、実施方策では、アニメーション・美術に関する学科の設置、既存の美術に関する専門科目に加え、新たな表現技法の一つであるアニメーションに関する科目などを設けることをうたっております。更に、例えば、学習指導要領の美術Ⅰの目標では、表現方法の創意工夫といった記載や、専門科目絵画の目標では、表現形式の特性とい

った記載がされております。そこで、美術における美の表現といった意味や、新たな表現技法といった観点に着目し、美術表現科といたしました。美術表現科では、幅広く美術を学び、アートやデザインも含め、自分が表現したいことを表現できる、創造力や表現力豊かな生徒の育成を目指したいという意味合いも含まれております。また、美術表現科という名称は、中学生に対しても、美術を通して表現力を磨く学科ということを分かりやすく伝えることができると考えております。以上のことから、新たに、美術表現科という学科名を提案させていただきました。

栗藤委員長 はい。項目が複数にわたっておりますので、パートごとに分けて御協議いただきたいと思っております。最初は、基本計画（案）の1から3までになります。2 基本的枠組みには、学科名や募集人員など、これまで議論がなされてきた部分がございますが、まずは1 策定に当たっての基本姿勢については、県教育委員会として、全ての新校に共通の表現とさせていただきます。よろしいでしょうか。はい。では、2 基本的枠組みについて、御意見をいただければと思っております。設置場所から開校年度まで、その中には学科名も含まれておりましたが、いかがでしょうか。御意見がございましたら、お願いいたします。学科名については、事務局から説明がありましたが、美術表現科という新しい案をお示しするに当たって、いろいろと言葉を引いてきております。美術という言葉が持つ意味、それから、学習指導要領から言葉を加えていくという作業もしているということです。これは、越生高校でも検討を進めたと聞いておりますが、いかがでしょうか。

榎本副委員長 越生高校教頭の榎本です。学科名につきましては、本校には美術科がありますので、美術科を中心に検討を進めました。前回の委員会では美術・デザイン科というところまで議論がなされましたので、そこまでの議論を踏まえて、改めて検討を進めました。その際に、事務局や本校から出ていた美術表現科を含めて検討し、その結果、今までの、この二つの案以外についても様々な考え方がありましたが、美術・デザイン科ではなく美術表現科の方が、新しい学びに取り組む新校の学科名としては相応しいのではないかという意見がありまして、美術表現科ということでまとまっているところでございます。

栗藤委員長 ありがとうございます。もちろん、他の観点と言いますか、他の立場からの御意見も頂戴できればと思っております。何かございますか。よろしいでしょうか。この基本的枠組みのところには、他にも、前回議論になりました募集人員などもあります。これでよろしいでしょうか。はい。では次の3 校名ですが、こちらは、来年度に向かってこういう検討をしていくと宣言をしているところで、何かしらの校名の方向性を示しているものではありません。来年度改めて検討するというまとめ方になっております。こちらもよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、続いてのパートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 （越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）のうち4 基本理念、5 教育活動等の基本方針(1)基本姿勢及び(2)教科指導、6 教育活動等の基本方針の具現化(1)教科指導について説明)

栗藤委員長 はい。参考資料1を中心に説明がありました。基本計画（案）には、修

正案の文言がそのまま溶け込んだ形になっております。今、説明があったパートの中で具体的に修正があった箇所は、基本理念の部分の字句の修正、これは、県教育委員会の公用文の取扱いに合わせたものですので、特に意味はありません。ですので、ポイントとなるのは、5ページの教科指導の具現化エにあった、情報の適切な扱い方に関する学びの機会を設け云々のところかと思えます。こちらに、社会で活躍できるスキルを身に付けるという文言が追記されております。この点について、御意見がありましたらお願いいたします。右側にありますように、前回の準備委員会で、この部分についてはかなり御意見が集中しました。情報社会において、高校生をどう育てていくかといったところに御意見が集まりましたので、このような反映のさせ方をしております。よろしいでしょうか。はい。それでは、次のパートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局（越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）のうち5 教育活動等の基本方針(3)生徒指導、(4)進路指導及び(5)生徒募集、6 教育活動等の基本方針の具現化(2)生徒指導、(3)進路指導、(4)生徒募集及び(5)その他について説明)

栗藤委員長 はい。6ページの生徒指導の基本方針から9ページのその他までになります。順を追って見ていきます。まず6ページでは、前回のこの検討委員会で出てきた御意見で、生徒指導提要がこの順番で記載されるようになったので、せっかくなのでその記載順に合わせましょうという御意見を踏まえての修正です。ア、イ、ウの重さに違いはないと確認した上で、順番としては生徒指導提要に合わせましょうということで修正したものです。下の具現化については、エに追記したということです。こちらも、準備委員会で出た御意見ということで、それを反映した形になっております。このパートについて、いかがでしょうか。順番の入れ替えと字句の修正、それから具現化エに、インターネット等の安心・安全な利用のために、情報の適切な扱い方に関する指導の充実を図るという項目を追加したものです。よろしいでしょうか。はい。では次のページにいきますと、進路指導の基本方針ウについて、これも言葉の問題で、意味的に大きな違いはないと思っておりますが、地域社会と連携するというのが、少し文意的におかしいのかなと。対象となる大学や専門学校、地元企業等、そういった団体と連携していくということで、地域社会と連携するというと少し意味が漠としてしまうということで、修正したものです。こちらはよろしいでしょうか。はい。では、8ページの生徒募集について、具現化エのところでは修正があります。ホームページや、いわゆる学校の魅力を伝えていく部分のところでは、これも準備委員会で御意見ですが、美術やそういったところを売りにしている学校であれば、それに見合ったホームページの表現もありではないかということで、御意見を踏まえた修正となっております。県立の高校は、ネットコモンズによってプラットフォームが限定されてしまっていますから、なかなか工夫と言っても難しいところがあると思っておりますが、できる範囲内で工夫をしていくということを入言の中に入れ込んでおります。こちらのパートについてはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい。次の9ページ、その他は修正がないということです。6ページから9ページまで、全体を通して何かございますか。よろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。それでは、その次のパートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 （越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）のうち7 開校準備、8 対象校における教育活動、9 教育環境の整備、10 付随する事項について説明）

栗藤委員長 はい。それでは、資料1に戻りまして、4ページの7 開校準備から5ページの10 付随する事項まで説明がありました。このパートについては、基本的には全ての新校で共通の記載となっております。固有の名称だけを入れ替えた形となっておりますが、このパートの部分で御意見等がございましたら、お願いいたします。ここには記載がありませんが、開校準備という意味では、来年度、それぞれの学校を跨ぐ形で新校開設委員会が立ち上がります。この開設委員会の中で、教育課程を決めていくことはもちろん、学則や内規、校則など学校の具体のところを決めていくこととなります。今、私たちが協議している基本計画は、その基である骨組みという位置付けになっておりまして、来年度、教職員を中心とした開設委員会で細かいところを決めていくということとなります。何かございますか。よろしいでしょうか。はい。そうしましたら、大分幅の広いと言いますか、資料的には分量も多かったもので、前のところで言いそびれたといったところがあれば、いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。

栗藤委員長 それでは、本日は90分の時間を用意しておりますが、円滑に会議が進んでおりますので、御意見がないということで、以上で協議を終了させていただきたいと思っております。今回のこの基本計画検討委員会をもちまして、当初予定していた3回の委員会が全て終了したことになります。本日は、学科名のところで御意見が出ましたが、そういったものを踏まえて、越生・鳩山新校（仮称）基本計画（案）については、来年1月に開催される新校準備委員会の方に持っていきたいと思っております。そちらでも御意見等を頂戴し、策定に向けて進めていくこととなります。委員の皆様には、3回の委員会に御協力いただき、本当にありがとうございました。先生方におかれましては、先ほども申し上げましたが、今後設置する新校開設委員会等でもお世話になりますが、引き続き、御協力をお願いしたいと思います。最終的には、事務局で整理、検討して、年度末までに基本計画を策定することとなりますが、そのときには、次の準備委員会の動きなども含めて、副委員長であるそれぞれの教頭先生を通じて、この先の状況等については、適時、お話をさせていただければと思います。長らく御協議いただき、ありがとうございました。